



月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガッさん」

NETWORK

にしかわ

2021

令和3年

10月号

No.787



- 主な内容 -

P2 | 錦秋の月山

P4 | 西川小学校創立 10 周年

P6 | 令和 2 年度 西川町決算報告

月山で 自分だけの秋を見つけよう。

#いいべ西川 #秋の月山 #紅葉

9月下旬、一足先に本格的な秋を迎えた月山は紅葉シーズンに突入。

山全体が赤や黄色、オレンジに色づき、錦絵のような美しい光景が広がりました。





写真: 1.6年生による書道パフォーマンスがスタート/2.卒業生をゲストに迎えパネルディスカッションを開催/3.書道家・清野玉蓉先生の指導のもと筆を走らせる児童たち/4.大きく「夢」の字をしたためる小川一博町長/5.海味出身の劇伴作家・後藤沙希乃さんが東京からリモートで参加した

Go for your Dream!

～西川小学校の皆さんへ～



後藤沙希乃さん
(海味出身)

私は小さい頃から作曲家になりたいという夢があり、それが現在の仕事に結びつきました。ぜひ、皆さんには小学生の今「やってみよう!」と頑張っていることにどんどん挑戦し、夢を具体的に想像してほしいと思います。そして、日々自分を見守ってくれる周りの方に感謝を伝えることを忘れずに。皆さんの夢を応援しています。

小学校生活最後の1年をこの西川小学校で過ごしました。同級生が増えたことで水泳大会のリレーチームが組めるようになり、西村山地区大会で仲間と入賞できたことが思い出に残っています。西川小の皆さん、これからも西川の仲間を大切にしながら、将来を見据え、向上心を持って勉強や運動を頑張ってください。



志田瑛紀さん
(大井沢)

西川小学校の学校行事で行ったカヌー教室で仲間と共にカヌーをする楽しさを知ったことで、中学校・高校でもカヌーを続け、最高の思い出を作ることができました。今でも西川の同級生と会うたびに「やっぱり地元の仲間はいいな」と感じます。皆さんも今一緒に過ごしている仲間を大切に、小学校生活を頑張ってください。



佐藤奈津さん
(水沢)

夢の通り路

みち

西川小学校創立10周年



平

成24年4月、睦合・西山・沼山・水沢・川土居の5つの小学校がそれぞれ培ってきた学校の文化を融合し、新たに統合校として創立され、今年で10周年。今号では9月30日に開催された記念イベントの様子をご紹介します。

西川小で学ぶ誇りを胸に... それぞれの想いを筆に込めて

第一部は同校児童による書道パフォーマンスが披露されました。劇伴作家として活躍されている後藤沙希乃さん(海味出身)が編曲した「西川小学校校歌」のピアノ曲に合わせ、6年生児童34人によるパフォーマンスがスタート。児童たちは五輪のシンボルマークが描かれた縦3m×横4・5mの巨大な紙にカラフルな絵の具を染み込ませた筆を走らせ、自分の好きな漢字一文字を丁寧に書き上げました。そこに小川一博町長や白田慶和校長が「西川小学校創立10周年 夢 翔べ未来へ」の文字を書き上げ、大迫力の作品が完成しました。

みんなの「夢」を育む小学校時代 先輩方が学び舎での思い出を語る

第二部では本町ゆかりの先輩3名と全校児童とのパネルディスカッションが開催され、後藤沙希乃さん(リモート参加)、志田瑛紀さん(大井沢)、佐藤奈津さん(水沢)がステージへ。それぞれ西川での小学校生活を振り返り、仲間たちや先生方との思い出を話してくれました。また、現在の西川小学校の児童へ向けたメッセージとして、小学校時代に興味のある分野に挑戦することの重要性や、仲間と過ごす時間の大切さを語りかけました。

西川町決算報告

9月の町議会定例会で、西川町の令和2年度決算が認定されました。町民の皆さんから納めていただいた町税や国・県からの補助金、地方交付税などがどのように使われたのかなど、主な内容と町の財政状況についてご紹介します。

令

和2年度一般会計決算における実質収支※1は3億4986万円の黒字となりました。前年度と比較すると、西川町畜産クラスター事業や小中学校冷暖房設備整備事業が完了したものの、感染防止対策・生活支援・経済対策を3つの柱とした新型コロナウイルス感染症対策経費や、令和2年7月豪雨災害復旧経費などの増加により、歳入は18.2%、歳出は15.4%それぞれ増加しました。

歳入は18.2%増加

歳入は前年度に比べ9億2555万円(前年度比+18.2%)の増となりました。その中で増減の主なものをご紹介します。

まず、町税のうち固定資産税が償却資産の減少などにより359万円(▲0.7%)の減、新型コロナウイルス感染症の影響により入湯税が459万円(▲39.4%)の減となり、町税総額では1021万円(▲1.4%)の減となりました。

地方譲与税は、森林環境譲与税の増加により、788万円(+12.5%)の増となりました。

地方交付税のうち普通交付税は、過疎対策事業償還額の増加などから1億9082万円(+8.9%)の増、特別交付税が除排雪経費の増加などにより1億3946万円(+47.4%)の増となり、総額では3億3028万円(+13.6%)の増となりました。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症の影響による特別定額給付金事業費補助金や豪雨災害復旧費負担金などの増加により8億8696万円(+329.4%)の増となりました。

増加により8億8696万円(+329.4%)の増となりました。

県支出金は豪雨災害復旧費負担金などが増加したものの、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費補助金や農業基盤整備促進事業費補助金などの減少により2億2519万円(▲44.1%)の減となりました。

町債は観光施設管理整備事業や豪雨災害復旧事業などが増加したものの、小中学校冷暖房設備整備事業や月山湖力ヌースプリント競技場整備事業などの減少により4177万円(▲11.2%)の減となりました。

財源別の構成比率は、自主財源※2(町税等)が21.2%、依存財源(地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債等)が78.8%で、地方交付税や国庫支出金の増に伴い、自主財源の比率が前年度比5.1%減少しました。

歳出は15.4%増加

歳出は前年度に比べ7億4822万円(前年度比+15.4%)の増となりました。

主な増減の要因として、特別定額給付金事業や地域振興券交付事業などの新型コロナウイルス感染症対策経費の支出により、補助費等が6億8612万円(+84.4%)の増、町民体育館整備事業の元金償還開始などにより、公債費が1億3216万円(+20.8%)の増となりました。

その他の投資的経費は、畜産クラスター事業や小中学校及び保育園冷暖房設備整備事業の完了などにより、2億7

町税の内訳

区分	税額	構成率	1人あたり
町民税	1億8,450万円	25.0%	36,893円
固定資産税	5億374万円	68.3%	100,728円
(うちダム関係以外)	(2億6,044万円)	(35.3%)	(52,078円)
軽自動車税	1,913万円	2.6%	3,825円
町たばこ税	2,302万円	3.1%	4,603円
入湯税	706万円	1.0%	1,412円
総額	7億3,745万円	100.0%	147,461円

町債の状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
発行額	4億2,310万円	3億7,190万円	3億3,013万円
元金償還等額	5億6,998万円	6億399万円	7億4,263万円
うち繰上償還額	—	—	—
町債現在高	65億9,003万円	63億5,794万円	59億4,544万円

町の起債残高

会計区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会計	65億9,003万円	63億5,794万円	59億4,544万円
公共下水道事業会計	9億478万円	8億2,768万円	7億5,441万円
農業集落排水事業会計	1億4,263万円	1億2,708万円	1億1,115万円
病院事業会計	9,757万円	8,332万円	6,865万円
水道事業会計	7億2,637万円	7億398万円	6億8,922万円
合計	84億6,138万円	81億円	75億6,887万円

※令和2年度の起債残高中、普通交付税の算入見込額は49億2,366万円(見込割合65.1%)です。

特別会計

区分	収入	支出
国民健康保険事業	7億3,674万円	6億4,129万円
大井沢歯科診療所	217万円	216万円
公共下水道事業	1億8,294万円	1億7,154万円
農業集落排水事業	2,862万円	2,797万円
寒河江ダム周辺施設管理事業	385万円	299万円
後期高齢者医療事業	9,292万円	9,271万円
介護保険事業	7億4,154万円	7億3,950万円
宅地造成事業	6万円	—

企業会計

区分	収入	支出
病院事業	収益的	7億843万円
	資本的	4,890万円

※一般会計からの繰入金は収益的収入では2億6,700万円、資本的収入では300万円となり、合計2億7,000万円となりました。

区分	収入	支出
水道事業	収益的	2億403万円
	資本的	1億935万円

※一般会計からの繰入金は収益的収入では2,984万円、資本的収入では1,082万円となり、合計4,066万円となりました。

主な財源指標

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
財政力指数	0.244	0.244	0.241
経常収支比率	95.3%	92.2%	93.5%

町民1人あたりにすると・・・



町税負担は・・・

147,461円

対前年比 +3,320円 (+2.3%)

歳出は・・・

1,124,107円

対前年比 +184,558円 (+19.6%)

町の基金(貯金)

基金区分	基金残高
財政調整基金	12億6,838万円
減債基金	8億7646万円
地域福祉基金	4,186万円
町有施設整備基金	3億4,062万円
丸山薫記念基金	272万円
ふるさとづくり基金	1億5,005万円
賃貸集合住宅維持管理基金	4,173万円
小水力発電維持管理基金	364万円
森林環境譲与税基金	1,013万円
新型コロナウイルス感染症対策基金(新)	5,806万円
公務災害補償基金	201万円
土地開発基金	1億2,840万円
肉用牛特別導入事業基金	217万円
育英奨学基金	7,131万円
用品調達基金	0万円
国民健康保険給付基金	1億4,753万円
介護給付費準備基金	6,220万円
合計	32億727万円

町が所有している財産

土地(面積)	46,821,842㎡
建物(総面積)	65,296㎡
自動車(台数)	77台
有価証券等	9,112万円

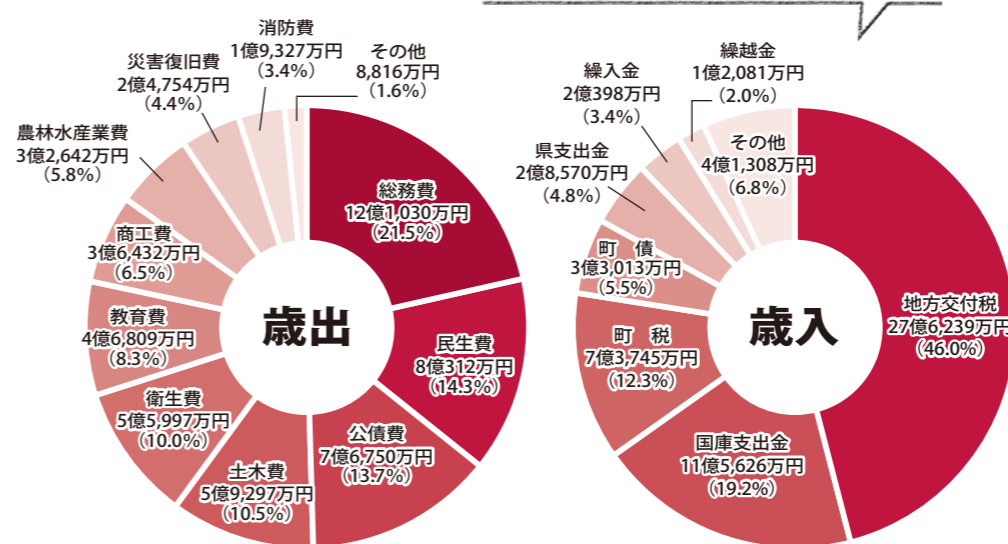
財政力指数

財政力を示すもので、1に近くあるいは1を越えるほど財政に余裕があるといえます。

経常収支比率

財政構造の弾力性を示す数値で、この値が100%に近いほど、自由に使えるお金が少ないこととなります。

一般会計歳入・歳出



歳出総額 56億2,166万円

歳入総額 60億980万円

※1 一般会計決算における歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額
 ※2 町税・分担金及び負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入の合計

町の財政健全化判断比率及び資金不足比率について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率を公表します。

	西川町算定結果	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率 普通会計の実質赤字(歳入を歳出が上回った額)が標準財政規模に占める割合	-% (-%) (赤字額なし)	15.00%	20.00%
②連結実質赤字比率 すべての会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	-% (-%) (赤字額なし)	20.00%	30.00%
③実質公債費比率 公債費及び公債費に準じた経費が標準財政規模に占める割合	10.6% (9.6%)	25.0%	35.00%
④将来負担比率 地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債が標準財政規模に占める割合	-% (6.1%)	350.0%	

標準財政規模とは・・・地方公共団体の一般財源の標準的な大きさを示す指標

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がないため、将来負担比率は将来負担すべき実質的な負担がないため「-%」と表示しています。
※()内の数字は昨年度のものであります。

資金不足率

公営企業における資金不足比率 公営企業ごとの資金不足額が事業規模に占める割合	-% (-%) (資金不足なし)	経営健全化 基準 20.0%	
---	---------------------	----------------------	--

※資金不足額がないため、「-%」と表示しています。
※()内の数字は昨年度のものであります。

入湯税の用途について

本町の令和2年度一般会計決算における入湯税の充当状況は次のとおりです。

令和2年度入湯税	(単位:千円)	
	予算額	収入済額
	7,101	7,057

事業名	経費	財源内訳				
		特定財源			一般財源	うち入湯税
		国(県)支出金	町債	その他		
観光の振興						
西川四季まつり事業補助金	5,413				5,413	2,000
観光情報広告宣伝事業補助金	1,370				1,370	500
観光推進機能強化事業補助金	11,800		9,600		2,200	800
観光情報・誘客推進事業補助金	1,825				1,825	657
観光施設管理整備事業	47,545		26,100	13,145	8,300	3,100
合計	67,953		35,700	13,145	19,108	7,057

引き上げ分の地方消費税交付金(社会保障財源化分)の用途について

社会保障の安定財源の確保を図る税制の抜本的な改革を行うため、平成26年4月1日から消費税及び地方消費税の税率が5%から8%へ、令和元年10月1日から8%から10%へ引き上げられました。この引き上げ分に係る地方消費税交付金については、全て「社会保障施策に要する経費(事務費や事務職員の人件費は除く)」に充てることとされています。

本町の令和2年度一般会計決算における上記経費の充当状況は、次のとおりです。

【歳入】 市町村交付金(社会保障財源化分)	【歳出】 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費
65,428千円	696,379千円

社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 (単位:千円)

事業名	経費	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国(県)支出金	町債	その他	
障害者自立支援事業	123,798	95,027			28,771
障害児支援事業	6,867	5,003			1,864
老人保護措置費	9,761		1,700	1,276	6,785
後期高齢者医療に関する経費	81,534				81,534
子育て支援医療給付事業	12,850	2,607	9,800		443
ひとり親家庭等医療給付事業	1,654	827			827
不妊治療費助成事業	170				170
小計	236,634	103,464	11,500	1,276	120,394
介護保険事業(特別会計繰出金)	91,936	5,160			86,776
後期高齢者医療事業(特別会計繰出金)	28,283	16,005			12,278
国民健康保険事業(特別会計繰出金)	60,846	19,264			41,582
小計	181,065	40,429			140,636
後期高齢者健診事業	1,575			1,080	495
病院事業(病院事業会計繰出金)	270,000				270,000
大井沢歯科診療所事業(特別会計繰出金)	345				345
救急医療対策事業	3,177				3,177
妊婦健康指導事業	2,087				2,087
町民健康づくり推進事業	1,496			4	1,492
小計	278,680			1,084	277,596
合計	696,379	143,893	11,500	2,360	538,626

一般財源のうち、引き上げ分の地方消費税交付金	65,428	・・・②
引き上げ分の地方消費税交付金を除く一般財源	473,198	・・・①ー②

本町の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率

(※町の財政の健康状態を示す数値)

令和2年度決算に基づく健全化判断比率のうち、実質赤字比率と連結実質赤字比率は、共に赤字額がないため、比率なしとなりました。

また、実質公債費比率、将来負担比率は共に早期健全化基準を下回っています。なお、公営企業会計においても資金不足がないため、比率なしとなりました。

本町は全ての比率において基準を下回っており、健全な財政状況にあります。今後も引き続き行財政改革に取り組み、健全な財政運営に努めていきます。

本町の健全化判断比率を県内35市町村と比較すると、実質公債費比率は昨年度より1.0%増加し、比率の低い方から22位(昨年度20位)となっています。

また、将来負担比率は昨年度県内35市町村中比率の低い方から6位でしたが、今年度は借金等の将来負担額よりも普通交付税算入見込み額や基金残高等が上回るなどしたため、比率なしとなっています。

入湯税の用途について

入湯税は地方税法第701条の規定により、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設、その他消防活動に

必要な施設の整備並びに観光の振興(観光施設の整備を含む)に要する費用に充てるため課税するものです。

本町では地方税法に基づく西川町町税条例の規定により、鉱泉浴場における入湯に対し一人一日150円(宿泊を伴わない場合は75円)を課税しており、令和2年度決算における収入済額は705万7千円でした。

一方、入湯税を充当すべき事業は地方税法で定められており、本町では充当代象事業として観光振興事業(6795万3千円)に対し充当しています。

電源立地地域対策交付金事業について

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の設置や運転の円滑化を図るため、電源地域の市町村が行う公共用施設の整備や、地域住民の福祉の向上を図るための地域活性化事業に対して、国から県を通じて交付されています。

本町では令和2年度交付額1807万円を住民の福祉の向上に資する事業として「にしかわ保育園」の運営費2713万8千円の一部に充当し、子育て支援のために有効に活用しています。

西川町役場での3日間の記者体験を通じて、編集の大変さや、取材先での挨拶などの重要性を学びました。今回学んだことを、今後の学校生活や進路決定に活かしていきたいと思います。

私たちが取材・記事作成をしました！



生徒たちにとって各職場でのさまざまな体験は「働くこと」への理解を深め、自分自身の将来について深く考える貴重な機会となったようです。

中学生記者がインタビュー！



西川中学校2年生 「トライやるウィーク」

9月8日～9月10日、西川中学校2年生を対象とした職業体験「トライやるウィーク」が行われ、41人が町内の8事業所で職場体験を行い、内4事業所へ取材に伺いました。

西川小学校 03.

Q. やりがいを感じたのはどんなときですか。

A. 児童の皆さんが笑顔で「一緒に遊ぼう」と話しかけてくれたり、教えたときに「ありがとう」と言ってくれたときです。

Q. 教える立場になってみて、どうでしたか。

A. 児童に教えるタイミングが難しかったです。また休み時間にどのように話しかければいいのか悩みました。

感想

初めから「教える」のではなく、あくまで小学生と同じ目線になって「サポートする」というのが難しく、先生の仕事の大変さを痛感しました。小学生の笑顔に元気をもらい、楽しく体験することができました。



01. JAあぐり西川店

Q. やりがいを感じたのはどんなときですか。

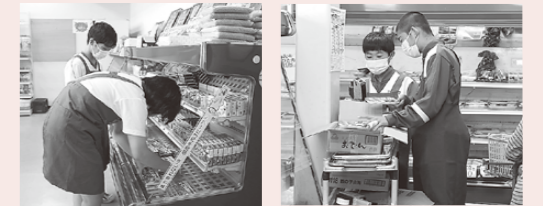
A. 並べた商品をお客様が買ってくださり「お疲れ様」などと声をかけてくれたときです。

Q. 接客の際に気が付いたことは何ですか。

A. お客様が買い物をしやすいように商品を綺麗に並べたり、「また来たい」と思ってもらえるような接客を心がけました。

感想

商品に値段をつけたり、野菜にラップをかけるのが楽しかったです。自分から仕事を見つけて動くことができ、店員さんから褒めてもらえて嬉しかったです。また、店員として実際にお客様と会話できたことも貴重な経験になりました。



清流・庭園 山菜料理 玉貴 04.

Q. やりがいを感じたのはどんなときですか。

A. 客室の掃除や接客を体験し、お客様が笑顔で帰られたときです。

Q. どんなことが印象に残りましたか。

A. お客様にお出しする料理作りや接客をしたときです。また、和室の作法について学んだことです。

感想

感染症対策のため提供できるサービスが限られている中、スタッフの方が「お客様を笑顔にしたい」「美味しいものを届けたい」という一心で働いていることが分かりました。とても貴重な体験でした。



02. にしかわ保育園

Q. やりがいを感じたのはどんなときですか。

A. 初めのうちは園児たちから逃げられたりしましたが、だんだんと仲良くなり、「先生」と呼んでもらえたときです。

Q. 苦労したことは何ですか。

A. 園児たちと同じ目線になって接することが難しく、意思疎通やコミュニケーションの取り方に苦労しました。

感想

保育士は一度にたくさんの園児たちと触れ合うため、かなりの体力が必要な仕事だと学びました。園児たちとの接し方に迷う場面もありましたが、みんなから声をかけてもらえて嬉しかったです。



町の施策を
ズームアップ

西川町を元気な町に!!

町が展開する事業あれこれ

～ 事業の紹介やその進ちょく状況についてお伝えします ～

■差別のない社会を目指して

町では、障がいを理由とする差別の解消を推進し、共生する社会の実現に町民が一丸となって取り組むことを目指すため、「西川町障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を9月16日に施行しました。

この条例では、町民の皆さんが障がい及び障がいのある人についての理解を深め、差別解消に向けた町の取り組みに対して協力することを願っています。

■対象の障がい者とは

身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がい、高次脳機能障がいを含む）、難病を原因とする障がい、その他の心身の機能の障がいなどがあり、そのことから日常生活や社会生活に相当な制限を受けているすべての人です。手帳の有無は問いません。

■障がいを理由とする差別とは

やむを得ない理由もなく、障がいがあるというだけで障がいのない人よりも不利な扱いをする次のような行為は禁止されています。

- ・不動産の販売や賃貸にあたり障がい者であることを理由に物件の紹介等を拒否する。
- ・障がい者であることを理由に、商品の販売やサービスの提供を拒否する。
- ・障がい者へのサービス提供に際し、理由がないのに介助者の付き添いなどの条件を付ける。



■合理的配慮とは

障がいのある人への必要な配慮であり、障がいの特性に合わせた次のような配慮に努めなければなりません。

- ・聴覚障がいの人に、筆談で伝えるなどの対応をする。
- ・視覚障がいの人に、書類を読み上げて内容を伝えるなどの対応をする。
- ・知的障がいのある人などが理解しやすいように、書類にふりがなを付けたり、難しくない言葉やわかりやすい表現を使用する。
- ・精神障がいのある人などが働きやすいように、職場の配置や環境、勤務条件などを柔軟に変更する。
- ・身体障がいのある人などが移動しやすいように、扉

■どこに相談すれば

障がいを理由とする差別に関する相談があった場合、町は県や関係機関と連携しながら、話し合いによる問題解決を図っていきます。左記にお問い合わせください。

お問い合わせ
健康福祉課
☎0237-74-3243



町立病院みんなの医療コーナー

令和3年10月1日より、町立病院の会計窓口で医療費の支払いにクレジットカードが利用できるようになりました。入院費の支払い等で高額になる場合は現金を所持しなくて良いので安心です。また、院内に銀行ATMの設置がされていないため、クレジットカードの利用が便利です。どうぞ、ご利用ください。

■クレジットカードでのお支払いが可能な費用

入院・外来すべての医療費

■ご利用できるクレジットカードの種類

VISAカード・Masterカード・JCBカード・AMEXカード・DinersClubカード

■お取り扱い上の注意

- ・ご利用の際には、暗証番号の入力又はサインが必要です。
- ・利用限度額をご確認の上、ご利用ください。

今月のテーマは「クレジットカード決済を導入しました」



▲クレジットカード決済が可能になった窓口

■クレジットカード取り扱い対応時間について

- ・月曜日～金曜日及び休日当番日の日曜日・祝日
- ・午前8時30分～午後5時まで
- ・右記以外の時間帯及び土曜日はご利用ができませんのでご了承ください。

- ・ご不明な点がありましたら、事務係（☎0237-742211）までお問い合わせください。

子どもに関するお悩み、何でもお寄せください。

「ぴーちくLOVE」 開所します。



スクールソーシャルワークコーディネーター
菅原一美さん

この度、子どもの成長に携わる人のための相談室「ぴーちくLOVE」を開所します。同所では山形県教育庁村山教育事務所から西川町に派遣されているスクールソーシャルワーク・コーディネーターが学校や家庭などからの相談を受け付け、関係機関と連携しながら課題解決に取り組んでいきます。相談受付対象は、お子さんやそのご家族に限らず、子どもに関する疑問や悩みを抱えたすべての方です。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

※事前に西川町教育委員会（☎0237-74-2114）へご予約をお願いします。

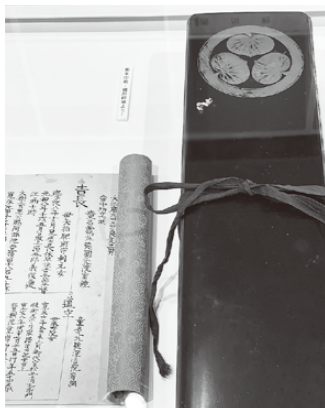
受付日時
火曜日の午後2時～4時（月の最終火曜日はお休み）
月の最終土曜日の午後2時～4時

場所
4月～11月▼西川町歴史文化資料館3階
12月～3月▼交流センターあいべ

安中坊大江氏の系譜原本を公開中です！

「西川町歴史文化資料館」では、現在安中坊大江氏の系譜の複製製作を進めており、第42代大江家当主・弘明氏からお借りした系譜の原本を公開しています。また、天保時代に大江氏が徳川家から拝賜した御朱印箱などを展示中です。10月30日までの期間限定公開となります。ぜひお越しください。

お問い合わせ
西川町歴史文化資料館
☎0237-84-7390



▲大江氏の系譜原本と御朱印箱

適切な運動指導で
健康づくりを応援します!



伊藤 賢さん

お元気ですか?

まちの保健室から PART 282

◆「歩くこと」と「健康」の関係について

今回は、歩数についての情報です。皆さんは1日何歩歩いていますか? また、何歩だと健康づくりとして良いと思いますか?

以前は「1日1万歩」などといわれていましたが「(公財)健康・体力づくり事業財団」から発行されている「健康づくり2020年12月号」で紹介された論文※1では、「高齢女性において、歩数が多いほど死亡リスクは低くなるが、7500歩/日ほどで頭打ちとなる」と報告されています。その他、日本でも群馬県中之条町で13年にわたり行われた「中之条研究」で「1日8000歩、その内中強度活動時間(速歩き等)20分以上」が健康のために最も適した活動量だと導き出されています。

まずは「たくさん歩くぞー」という目標ではなく、自分の生活の中で+10分(プラステン)積極的に動く気持ちで、無理なく活動量を増やしていくようにしてみましよう!

※1 論文名: Association of Step Volume and Intensity With All-Cause Mortality in older Women / 高齢女性における歩数及び歩行強度と全死因死亡率の関係

背中筋のストレッチ

四つ這いになり、お尻をゆっくり後方に引きながら下げていきます。



ゆっくり15秒キープ

椅子や机を利用した場合



ポイント: 肩の力を抜き、体の側面(横側)から背中にかけての伸びを感じましょう!

※柔軟性には個人差があります。ご自身の体に合わせた無理のない姿勢で行ってください。

※痛みは体からの赤信号のサインです。体に痛みを感じた時は運動を中止してください。

企画展「西川町の小学校」開催中です!

西川町立図書館では現在、西川小学校創立10周年記念に合わせた企画展「西川町の小学校」を開催中です。統合前の各校の記念誌のほか、昭和時代の当時の子どもたちの様子を振り返る写真や、町内初の小学校創立から現代までのあゆみを知る年表などを公開しています。皆さんが小学生時代に通学していた当時の思い出に会えるかもしれません。本企画展は11月中旬まで開催しています。ぜひ、お越しください。※資料は貸出不可、閲覧のみ



▲図書館入り口付近に展示中



▲統合前の小学校の記念誌も



▲当時の小学校の写真が勢揃い

10月のおはなし会のお知らせ

日時: 10月23日(土) 10:30から

内容: 絵本「めっきらもっきら どおんどん」、「りんごがドスン」 紙芝居「おにぎりたべよう」など

図書館さ、いべっす。



楽しい本がたくさん! みんな集まれ〜!

わいわいひるば 第125号

保育の理念: 子どもに愛と生きる力を

保育目標

- 雪のようにきらきら輝く子
- 緑のようにやさしくあったかい子
- 太陽のようにつよくたくましい子

大切にしていること

- ★しっかり看つめること
- ★ぎゅっとハグすること
- ★自分の興味を満喫させてあそぶこと
- ★思いっきりカラダを動かすこと
- ★大人みんなで精一杯愛すること
- ★大人も育つこと

保育園コーナー

「キラリンピックで一人ひとりがキラリ☆」

今年のにしかわ保育園の運動会「キラリンピック」は、青空の澄みわたる10月2日に開催されました。今年も東京2020オリンピックに合わせ、紅白チームの聖火リレーからスタート。競技ではみんなが主役となり、全力で頑張る姿を見せてくれました。子どもたち一人ひとりがキラリと輝き、思い出に残る素敵な運動会になりました。

新型コロナウイルス感染症対策の徹底のもと、保護者の皆さんのご協力のおかげで無事「キラリンピック」が開催できました。本当にありがとうございました。



▲手作りの聖火台にトーチを掲げる子どもたち



▲感動を呼んだ年長児によるリレー



▲一人ひとりの成長が見られた障害物競走



▲音楽隊の演奏で「キラリンピック」がスタート

ほっかぽかコーナー

「9月の活動をお知らせします」

いつも子育て支援センター「ほっかぽか」をご利用いただき、ありがとうございます。スタッフ一同、来てくれた皆さんの心がぽかぽかとほっこりするような空間づくりを心がけています。

9月の「ほっかぽか」では、みんなが集まる「集いの時間」や工作を楽しむ「つくるべえの日」など、楽しいイベントが開催されました。来月も皆さんの来園をお待ちしています。



▲つどいの時間2



▲つどいの時間1



▲「つくるべえの日」で作った皆さんの作品



▲つどいの時間3

協働通信 VOL.172

情報の共有をめざして!

令和3年度西川町功労者表彰式が10月1日、役場で行われました。表彰式では、長年西川町教育委員として教育行政を支えてこられた奥山秀征さん（海味）、長年町統計調査員として業務に尽力された志田義郎さん（大井沢）、金子恵一郎さん（大井沢）の3名に小川町長から表彰状と記念品が手渡されました。



▲功労者表彰を受けた皆さん（前列中央3名）

長年の功労を称えて… 令和3年度西川町功労者表彰式

町教育行政の重要施策などについて審議する町教育委員会の委員に大泉奈緒子さん（海味）が再任され、9月22日に役場で辞令交付式が行われました。任期は令和3年10月1日から4年間で、大泉さんには住民と教育行政をつなぐための



▲大泉奈緒子さん

活動をしていただく予定です。

西川町教育委員に 大泉奈緒子さんが再任

山形県西川町

LINE やってます!



アカウント名称/山形県西川町
ID/@nishikawa_town

町からのお知らせや各種行事の詳細など
皆さんの生活に密着した情報をお届けします! /



▲荒木一範さん



▲佐藤健一さん

固定資産税に対する不服について審査を行う町固定資産評価審査委員に荒木一範さん（沼山）・佐藤健一さん（睦合）の2人が選任され、9月22日に役場で辞令交付式が行われました。任期は荒木さんが令和3年10月1日から、佐藤さんが令和3年9月24日から共に3年間です。

西川町固定資産評価審査委員に 荒木一範さん・佐藤健一さん選任

令和3年度



西川町ご長寿番付



(敬称略)

町内会	年齢	氏名	氏名	年齢	町内会	
小山	104	大泉あさゑ	横網	加藤フミエ	104	海味
入間	102	佐藤 卯仲	大関	藤本 幸子	102	岩根沢
沼山	101	荒木ますの	関脇	清野 リネ	101	海味
間沢	100	佐藤 フサ	小結	工藤 ひさ	100	岩根沢
睦合	100	佐藤シゲノ	前頭1	宮林ときよ	99	月岡
間沢	99	和賀 繁雄	前頭2	設楽きみの	99	睦合
水沢	99	飯野もりの	前頭3	志田さく子	98	大井沢
吉川	98	伊藤 しげ	前頭4	荒木 ヤス	98	吉川
沼山	98	荒木おみよ	前頭5	志田ともゑ	98	大井沢
吉川	98	太田 勳	前頭6	國分 克賢	98	沼山
月岡	98	宮林 啓重	前頭7	土田 きみ	98	睦合
大井沢	98	澁谷 修平	前頭8	古澤 ケイ	98	岩根沢
岩根沢	98	片倉 政雄	前頭9	佐藤かつゑ	98	間沢
睦合	98	佐藤 きよ	前頭10	和田みつえ	97	海味
吉川	97	阿部 かつ	前頭11	吉見マサ子	97	睦合
海味	97	渋谷喜見男	前頭12	小野ことゑ	97	沼山
間沢	97	工藤 良子	前頭13	白田はなよ	97	入間
志津	97	清野満喜子	前頭14	荒木 あつ	97	間沢
海味	97	奥山 きの	前頭15	高橋キヨノ	97	吉川
岩根沢	97	渡邊 よう	前頭16	佐藤於久美	97	大井沢
岩根沢	97	大江 きく	前頭17	白田登一郎	96	入間
吉川	96	荒木吉次郎	前頭18	大泉 ゆき	96	入間
吉川	96	押野 ちゑ	前頭19	木村きみの	96	水沢
岩根沢	96	庄司ふみ子	前頭20	阿部ナヲエ	96	本道寺
海味	96	阿部おきみ	前頭21	荒木 幸雄	96	吉川



今年も町内にお住まいのご長寿の皆さんを大相撲の番付風にご紹介します。番付の最高齢は大泉あさゑさん（小山）と加藤フミエさん（海味）で共に104歳。今年は町内で100才以上の方は9人いらっしゃいました。ご長寿の皆さん、これからも健康で幸せな人生をお送りください！※この番付は10月13日現在のものです。紙面の都合上、生年月日の順に上位50人の方を掲載します。

地域の交通安全を願って

さがえ西村山農業協同組合からカーブミラー寄付

さがえ西村山農業協同組合から町にカーブミラー4基の寄付をいただきました。今回の寄付は、同組合の地域貢献活動の一環として交通安全啓発のために行われているもので、本町では昭和48年からこれまで200基以上のカーブミラーをご寄付いただいています。10月5日、安孫子常哉組合長と木沢功西川基幹支所長が役場を訪れ、小川町長に目録を手渡しました。いただいたカーブミラーは町内の見通しの悪い道路などに設置し、安全なまちづくりに有効活用していきます。



小川町長(右)に目録を手渡す安孫子組合長(中央)と木沢支所長(左)

地元素材「西山杉」に親しむ

西川中学校木工教室

9月9日、西川中学校でやまがた環境税を活用した木工教室が行われ、1年生42人が西山杉のブックスタンド作りに挑戦しました。当日は「月山やまぢから研究会」のメンバー2人が講師となり、ブックスタンドの組み立て方や見栄え良く仕上げるためのプロの技を指導しました。生徒たちは2人1組になって釘を打ったり、紙やすりで磨くなどしてブックスタンドを完成させ、西山杉らしい美しい木目の作品を嬉しそうに眺めていました。



西山杉のブックスタンド作りに挑戦

「おしどり金婚さん」顕彰

金婚賀詞贈呈

結婚50周年の夫妻を祝う山形新聞・山形放送の「おしどり金婚さん」顕彰の記念レリーフ贈呈が9月22日・24日の2日間にわたり行われました。コロナ禍のため、記念式典は昨年引き続き2年連続で中止となりましたが、町老人クラブ連合会の阿部富雄会長らが対象のご夫妻25組のお宅を訪問。レリーフなどを贈呈し、お二人の節目を祝いました。1軒目に訪問したのは井場淳さん・照子さんご夫妻(水沢)さん。50周年を振り返り「仕事も子育ても2人で支え合い頑張ってきたら



結婚50周年を迎えられた井場淳さん・照子さんご夫妻

れた」と妻の照子さん。夫の淳さんは「しよっちゅう喧嘩もしますが、これも円満の秘訣です」と話してくれました。

敬老の日を迎えて...

海味地区・敬老行事

敬老の日に合わせて、海味地区では9月19日、地区の75歳以上の約220人にお祝い状と記念品の紅白饅頭を贈呈しました。同地区では例年行っている敬老会がコロナ禍の影響で中止となりましたが、公民館役員の方が対象者のお宅を一軒ずつ訪問し、お祝いの品を手渡ししました。



長寿を願いお祝い品を手渡した

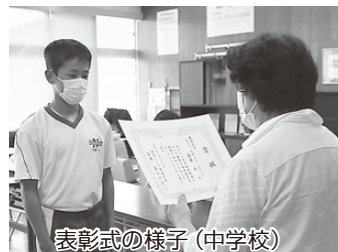
健康をテーマにした力作を表彰

健康川柳・親子健康標語 表彰式

西川町健康づくり推進会議では、家庭の中の健康づくりについて考えるきっかけづくりとして、健診や減塩など健康をテーマにした健康川柳と小・中学生を対象にした親子健康標語を募集し、今年度は健康川柳67作品、親子健康標語168作品の応募がありました。同会議で審査を行い、8月31日、小・中学校の表彰式で受賞者に奥山妙子会長から表彰



表彰式の様子(小学校)



表彰式の様子(中学校)

状が手渡されました。入選作品は10月15日から25日まで交流センターあいべに展示します。また「NETW ORKにしかわ」9月号にも掲載していきますので、ぜひご覧ください。

移住者同士で楽しく交流

西村山地域移住者交流会

首都圏から西村山地域に移住された方などを対象とした「西村山地域移住者交流会」が9月18日、大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館で開催されました。本交流会は「くらすべ山形」(二社)ふるさと山形移住・定住推進センター)による企画で、当日は西川町・朝日町などに移住された方8人が参加。大阪府から本町に移住された月山和紙職人・渋谷尚子さん(大井沢)の指導のもと、紙漉き体験を楽しみました。参加者の方は西村山地域に移住された経緯や現在の活動などを語り合い、交流を深めました。

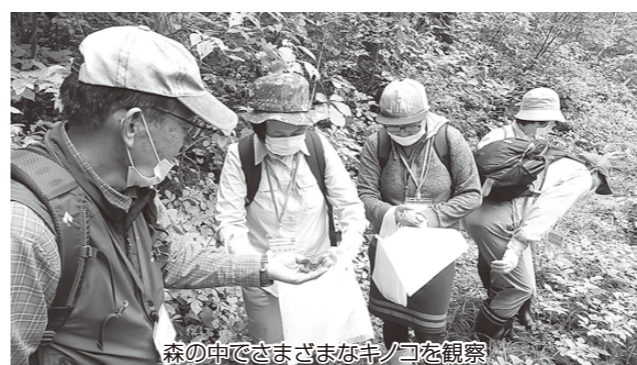


和紙作りを楽しみながら歓談

大井沢の森でキノコ観察

大井沢・きのご観察ときのご料理研修

西川町自然教育学習センターが主催する体験プログラム「きのご観察ときのご料理研修」が9月25日、大井沢森林公園で開かれ、町内外から親子連れなど9人が参加しました。参加者は同センターの職員の家内で公園内を散策し「ナギナタタケ」や「ツチグリ」などのさまざまなキノコを採取。採取したキノコは大井沢自然博物館に持ち帰り、その種類や植生などを観察しました。その後の昼食では、大井沢の民宿で調理したキノコやアケビを使った弁当を味わいました。



森の中でさまざまなキノコを観察

コロナの終息を炎に願う

大井沢・湯殿山神社例大祭前日祭

大井沢湯殿山神社では9月12日の例大祭に合わせて、前日祭で護摩祈禱が行われました。「護摩祈禱」とは、護摩木という薪を焚いてさまざまな願いを叶えるための真言密教の修法で、護摩の火は不動明王を象徴し、薪は煩惱を表しています。今年は感染防止のため、火渡り神事は執り行わず、若木山不動院(東根市)の本間亮善住職らを招いての護摩祈禱のみの開催となりましたが、地区の方約30人が神社を訪れ、燃えさかる炎に願いを記した護摩木を投げ入れ祈願しました。



護摩祈禱の炎を見守った大井沢地区の方々

今月の「#いいべ西川」



西川小学校に隣接する田んぼで10月5日、同校5年生26人による稲刈り体験が行われました。児童たちは慣れない鎌の扱いに苦戦しながらも、黄金色に実った稲を1株ごと丁寧に刈り取り、収穫の喜びを味わっていました。

▶ Instagram

西川町公式アカウント「@iibegassan」



IIBEGASSAN

今月の表紙

にしかわ保育園の運動会「キラリンピック」が10月2日に行われました。保護者の方が観客席から見守る中、園児たちは徒競走やダンス、リレーなどで練習の成果を発揮し、頼もしく成長した姿を見せてくれました。

編集雑記

9月下旬、人生初・秋の月山に登ってきました。街中で見える紅葉も綺麗ですが、山全体が色づいた大パノラマの紅葉は別格の迫力があり、興奮のあまり大量の写真を撮ってしまいました。
(板花)



西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<http://www.town.nishikawa.yamagata.jp>をご覧ください。



10/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,388人 女 2,566人 計 4,954人 世帯数 1,818 ()は前月比 (-8) (-5) (-13) (-1)